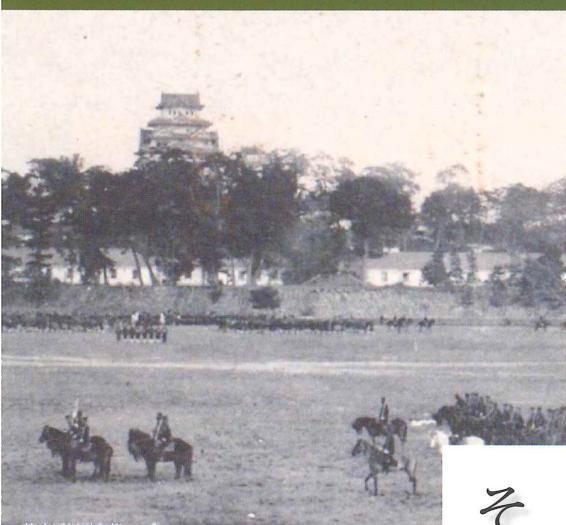


# 明治維新百五十年祭 旧陸軍第十師団の顕彰

第十師団と姫路～正しい歴史を未来へ～



第十師団司令部



血染ぬの軍旗

その歴史は姫路とともにあつた

かつて「鐵」と呼ばれた師団があつた



第十師団司令部



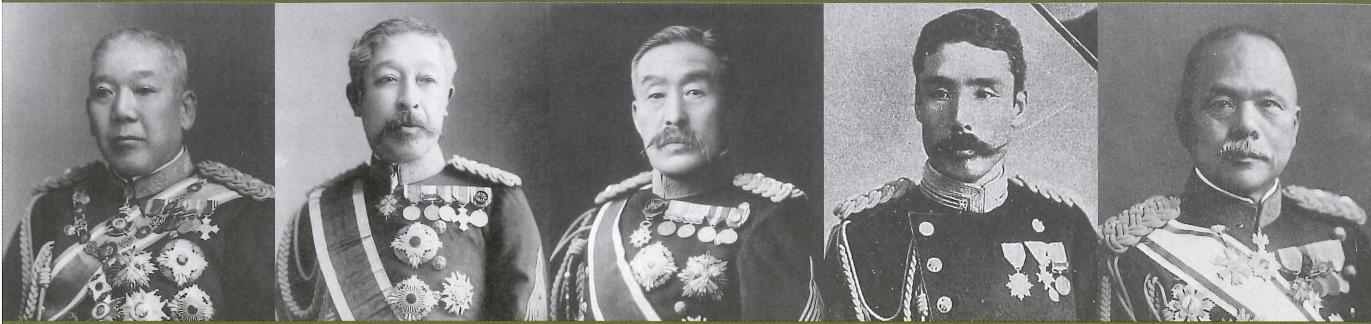
兵庫縣姫路護國神社

## 日時

平成  
30年 11月 2日(金) ▶ 3日(土)  
9:00~17:00 9:00~16:00

護國神社參集殿一階にてパネル展示

主催: 兵庫縣姫路護國神社崇敬奉贊会  
後援: 公益社団法人 隊友会 兵庫県隊友会姫路支部



陸軍大臣 大山 巖 大将

伏見宮貞愛親王

川村 景明 中将

松川 敏胤 少将

宇垣 一成 中将

## 第10師団の歴史

元号	主な出来事		第10師団
	日本	姫路	
明治	日清戦争 (1894-1895)  日露戦争 (1904-1906)	姫路市制を敷く。 (1889)  明治天皇行幸 (1903) 播但線開通 (1906)	第10師団編成 (明治31年(1898年)10月1日)  日露戦争動員命令 (明治37年(1904年)10月16日) 第4軍(軍司令官野津道貫)の隸下部隊として遼陽会戦、 沙河会戦、奉天会戦に参加し大活躍する。
大正	第1次世界大戦 (1914) 関東大震災 (1923) 満州事変 (1931)	山陽電気鉄道開通 (1927)	満州事変出動命令 (昭和7年(1932年)4月5日) 吉林省で掃討作戦実施後、昭和9年(1934年)4月帰国する。
昭和	日中戦争 (1937)  日・独・伊三国同盟 (1940)  大東亜戦争 (1941-1945)	広畑製鉄所操業開始 (1939)	動員命令 (昭和12年(1937年)7月) 台兒莊の戦い、徐州会戦、武漢攻略戦に参加し、 昭和14年(1939年)に帰国する。 特に、徐州会戦では広島の第5師団などと共に大いに 奮戦し功績を遺す。  関東軍の直属師団として佳木斯に駐屯する。 (昭和15年(1940年)) 満州国において対ソ連の訓練や抗日パルチザン掃討等の 治安維持活動に従事する。
	大東亜戦争終戦 (1945)	太平洋方面に配置される。 (昭和19年(1944年)2月) 米軍の侵攻に備えるため、当初師団の一部が太平洋方面に 配置されたが、情勢の緊迫化に伴い、同年7月師団主力も 南方派遣が決定され、風雲急を告げるフィリピンルソン島に 投入された。 第10師団は、尚武集団としてバレテ岬、サラクサク岬で 約半年間に渡る持久戦を展開したが、 衆寡敵せず壊滅状態となり、そのまま終戦を迎えた。	廃止 (昭和20年(1945年)8月15日)